

平成15年 年報

あいちの鉱工業 結果の詳細 I (前半)

はじめに

本数値は、本県が毎月公表している「あいちの鉱工業(速報)」及び「あいちの生産動態(確報)」の平成15年の数値に年間補正を加えた最終数値で再計算した鉱工業指数を年報(確定値)として取りまとめたものです。

本数値を平成15年の鉱工業の現状や経済活動等を分析する基礎資料として各方面で広く御活用いただければ幸いです。

終わりに、本数値の作成に当たり、毎月御協力いただいております事業所や企業の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

1 平成15年の概況

生産指数は98.2で、前年比2.3%上昇しました。

年間の推移は、前半は低下、上昇を繰り返しましたが、後半は緩やかに上昇しました。

業種別でみると、上昇したのは、一般機械工業が90.2(前年比11.4%)、輸送機械工業が103.0(前年比1.6%)、鉄鋼業が109.1(前年比4.9%)など12業種でした。一方、低下したのは、繊維工業が72.3(前年比 Δ 8.8%)、パルプ・紙・紙加工品工業が88.8(前年比 Δ 6.7%)、精密機械工業が73.3(前年比 Δ 13.0%)など8業種でした。

生産者出荷指数は103.4で、前年比2.6%上昇しました。

業種別でみると、上昇したのは、一般機械工業が99.0(前年比10.0%)、輸送機械工業が104.5(前年比1.8%)、情報通信機械工業が159.3(前年比11.6%)など12業種でした。一方低下したのは、繊維工業が73.6(前年比 Δ 8.9%)、化学工業が116.0(前年比 Δ 2.4%)など8業種でした。

生産者製品在庫指数は85.0で、前年比6.6%低下しました。

業種別でみると、低下したのは、輸送機械工業が55.5(前年比 Δ 34.4%)、電気機械工業が56.2(前年比 Δ 37.3%)、繊維工業が65.1(前年比 Δ 14.0%)など8業種でした。一方、上昇したのは、化学工業が135.5(前年比47.1%)、鉄鋼業が102.1(前年比7.0%)など12業種でした。

生産者製品在庫率指数は98.6で、前年比7.5%低下しました。

業種別でみると、低下したのは、一般機械工業が118.2(前年比 Δ 26.1%)、窯業・土石製品工業が86.8(前年比 Δ 13.0%)、輸送機械工業が87.8(前年比 Δ 5.3%)など10業種でした。一方、上昇したのは、化学工業が87.2(前年比8.1%)、木材・木製品工業が159.6(前年比9.3%)など10業種でした。

生産者出荷指数を特殊分類の財別でみると、最終需要財は103.5で前年比2.6%、生産財は103.4で前年比2.8%といずれも上昇しました。最終需要財のうち、投資財の資本財は94.1で前年比4.1%、建設財は100.9で前年比8.1%、消費財は107.2で前年比1.6%といずれも上昇しました。

図1 愛知県鋳工業指数の推移

年別 原指数

四半期別 季節調整済指数

平成12年(2000年) = 100

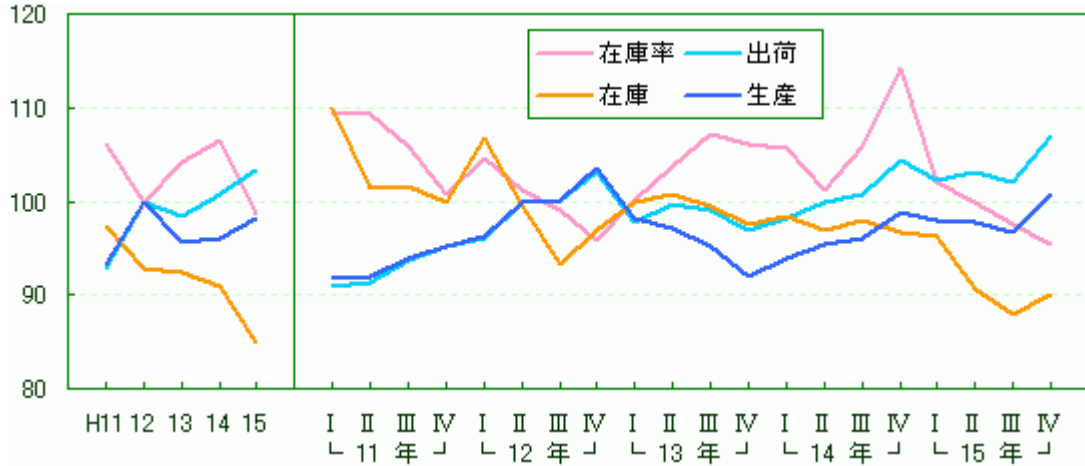


表1 愛知県鋳工業指数 年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	96.0	98.2	93.9	95.5	96.1	98.9	97.9	97.8	96.6	100.7
前年比・前期比	0.4	2.3	2.1	1.7	0.6	2.9	△ 1.0	△ 0.1	△ 1.2	4.2
出荷指数	100.8	103.4	98.2	99.9	100.8	104.3	102.2	103.1	102.1	106.9
前年比・前期比	2.5	2.6	1.4	1.7	0.9	3.5	△ 2.0	0.9	△ 1.0	4.7
在庫指数	91.0	85.0	98.5	96.9	97.9	96.6	96.3	90.7	87.9	90.1
前年比・前期比	△ 1.5	△ 6.6	0.9	△ 1.6	1.0	△ 1.3	△ 0.3	△ 5.8	△ 3.1	2.5
在庫率指数	106.6	98.6	105.7	101.2	105.9	114.3	102.1	99.8	97.5	95.4
前年比・前期比	2.3	△ 7.5	△ 0.4	△ 4.3	4.6	7.9	△ 10.7	△ 2.3	△ 2.3	△ 2.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

参考 全国及び中部地域の鋳工業指数

全国

図2 全国の鋳工業指数の推移

年別 原指数

四半期別 季節調整済指数

平成12年(2000年)=100

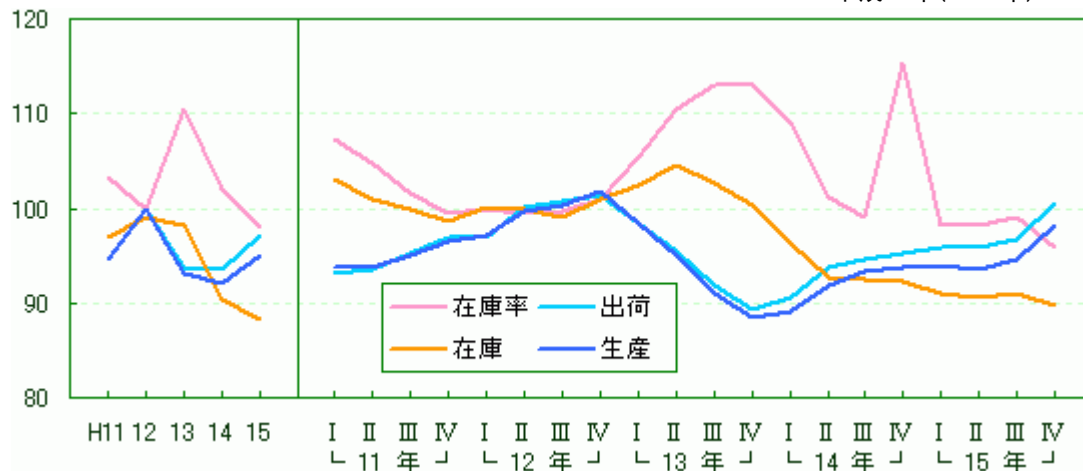


表2 全国の年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	92.0	95.0	89.2	91.8	93.4	93.8	94.0	93.6	94.5	98.2
前年比・ 前期比	△ 1.3	3.3	0.8	2.9	1.7	0.4	0.2	△ 0.4	1.0	3.9
出荷指数	93.5	97.2	90.5	93.7	94.6	95.3	95.8	95.9	96.7	100.6
前年比・ 前期比	△ 0.2	4.0	1.3	3.5	1.0	0.7	0.5	0.1	0.8	4.0
在庫指数	90.4	88.2	96.2	92.7	92.5	92.3	90.9	90.5	90.9	89.8
前年比・ 前期比	△ 8.0	△ 2.4	△ 4.2	△ 3.6	△ 0.2	△ 0.2	△ 1.5	△ 0.4	0.4	△ 1.2
在庫率指数	102.0	97.9	109.0	101.1	99.0	98.7	98.3	98.3	99.0	95.9
前年比・ 前期比	△ 7.6	△ 4.0	△ 3.5	△ 7.2	△ 2.1	△ 0.3	△ 0.4	0.0	0.7	△ 3.1

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

資料 経済産業省による。

中部地域

図3 中部地域の鉱工業指数の推移

年別 原指数

四半期別 季節調整済指数

平成12年(2000年) = 100

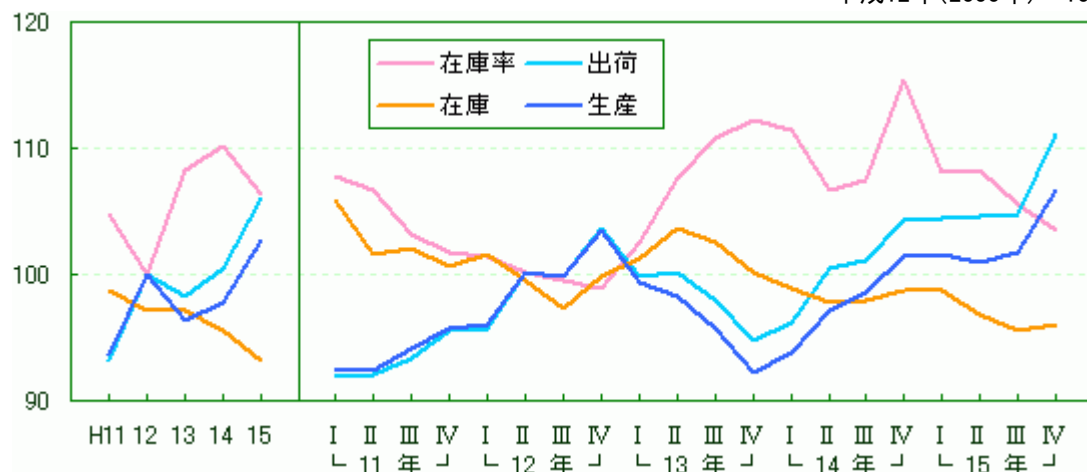


表3 中部地域の年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	97.7	102.7	93.8	97.2	98.6	101.5	101.6	101.0	101.8	106.7
前年比・前期比	1.3	5.1	1.7	3.6	1.4	2.9	0.1	△ 0.6	0.8	4.8
出荷指数	100.5	106.0	96.2	100.5	101.1	104.3	104.4	104.6	104.7	111.1
前年比・前期比	2.3	5.5	1.6	4.5	0.6	3.2	0.1	0.2	0.1	6.1
在庫指数	95.6	93.1	98.9	97.8	98.0	98.7	98.7	96.8	95.5	96.1
前年比・前期比	△ 1.5	△ 2.6	△ 1.2	△ 1.1	0.2	0.7	0.0	△ 1.9	△ 1.3	0.6
在庫率指数	110.2	106.3	111.5	106.7	107.4	115.4	108.1	108.2	105.5	103.5
前年比・前期比	1.8	△ 3.5	△ 0.7	△ 4.3	0.7	7.4	△ 6.3	0.1	△ 2.5	△ 1.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。
 注3 「中部地域」とは、富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県です。
 資料 中部経済産業局による。

表4 平成15年 業種別の生産・出荷・在庫・在庫率指数、前年比及び寄与度

平成12年(2000年)=100

業種名	生産			出荷			在庫			在庫率		
	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度	指数	前年比	寄与度
		%	%		%	%		%	%		%	%
鉱工業	98.2	2.3	—	103.4	2.6	—	85.0	△6.6	—	98.6	△7.5	—
鉄鋼業	109.1	4.9	0.324	104.4	2.0	0.110	102.1	7.0	0.846	92.9	△1.4	△0.141
非鉄金属工業	108.2	4.0	0.068	103.9	3.3	0.050	85.1	0.6	0.015	87.3	0.6	0.013
金属製品工業	98.2	△0.3	△0.009	102.6	4.2	0.110	87.8	△3.1	△0.091	95.9	△10.9	△0.270
一般機械工業	90.2	11.4	1.230	99.0	10.0	0.897	88.8	△5.7	△0.740	118.2	△26.1	△5.239
電気機械工業	85.3	0.2	0.013	85.8	△0.7	△0.029	56.2	△37.3	△2.255	83.3	3.7	0.024
情報通信 機械工業	115.8	4.9	0.200	159.3	11.6	0.765	235.3	57.4	0.125	96.7	△20.1	△0.033
輸送機械工業	103.0	1.6	0.625	104.5	1.8	0.846	55.5	△34.4	△7.247	87.8	△5.3	△1.117
精密機械工業	73.3	△13.0	△0.036	67.1	△17.5	△0.032	58.9	26.1	0.017	60.5	11.4	0.008
窯業・土石 製品工業	89.1	1.7	0.074	89.5	0.6	0.015	75.1	△6.6	△0.652	86.8	△13.0	△1.464
化学工業	109.5	0.5	0.016	116.0	△2.4	△0.083	135.5	47.1	3.558	87.2	8.1	0.488
石油・石炭 製品工業	94.2	16.6	0.105	90.4	18.6	0.221	125.5	10.4	0.200	118.0	△10.1	△0.205
プラスチック 製品工業	96.3	△0.2	△0.013	100.2	1.9	0.084	122.6	8.9	0.547	110.6	3.2	0.170
パルプ・紙・ 紙加工品工業	88.8	△6.7	△0.115	89.3	△5.5	△0.073	113.4	8.2	0.120	123.8	9.3	0.135
繊維工業	72.3	△8.8	△0.300	73.6	△8.9	△0.199	65.1	△14.0	△0.867	96.0	△5.9	△0.449
食料品工業	102.5	0.5	0.022	96.4	△1.5	△0.060	104.0	8.1	0.165	112.1	5.9	0.120
ゴム製品工業	108.7	1.9	0.041	115.2	6.2	0.083	137.9	5.4	0.072	115.8	12.5	0.119
家具工業	72.8	△1.8	△0.012	79.0	0.8	0.004	83.5	△23.5	△0.514	109.3	△3.5	△0.073
木材・木製品 工業	91.6	3.0	0.029	91.3	3.0	0.019	118.1	2.5	0.087	159.6	9.3	0.375
その他 製品工業	96.9	△5.4	△0.019	126.5	△13.2	△0.043	92.6	△18.0	△0.011	100.1	8.3	0.004
鉱業	89.7	△2.2	△0.001	90.2	△2.2	△0.001	100.7	1.8	0.001	113.4	△0.3	△0.000

注)「業種分類」・「寄与度」の意味については、「愛知県鉱工業指数とは」をご覧ください。

2 業種別の動向

(1) 鉄鋼業

— 生産、出荷ともに2年連続で上昇、在庫も上昇 —

生産指数は109.1で、前年に比べ4.9%上昇しました。これは、熱間圧延鋼材(前年比7.9%)、素製品(含、鋼半製品)(前年比6.2%)などが上昇したためです。

出荷指数は104.4で、前年に比べ2.0%上昇しました。これは、熱間圧延鋼材(前年比8.1%)、鑄鍛造品(前年比3.5%)などが上昇したためです。

在庫指数は102.1で、前年に比べ7.0%上昇しました。これは、熱間圧延鋼材(前年比16.2%)、めっき鋼材(前年比20.6%)などが上昇したためです。

図4 鉄鋼業 指数の推移

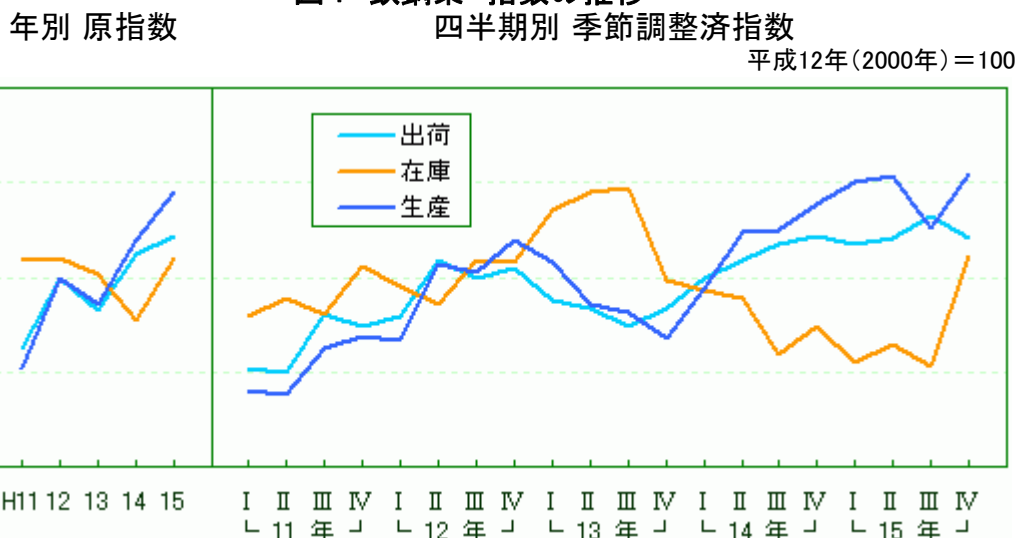


表5 鉄鋼業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	104.0	109.1	98.9	104.8	104.9	107.7	110.1	110.7	105.2	111.0
前年比・前期比	7.1	4.9	5.7	6.0	0.1	2.7	2.2	0.5	△ 5.0	5.5
出荷指数	102.4	104.4	99.9	101.8	103.4	104.3	103.5	104.2	106.5	104.1
前年比・前期比	6.0	2.0	3.2	1.9	1.6	0.9	△ 0.8	0.7	2.2	△ 2.3
在庫指数	95.4	102.1	98.7	97.7	91.8	94.9	91.1	93.0	90.5	102.3
前年比・前期比	△ 4.9	7.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 6.0	3.4	△ 4.0	2.1	△ 2.7	13.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

【鉄鋼業の主な品目の動き】

図5 熱間圧延鋼材 指数の推移
 年別 原指数 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年) = 100

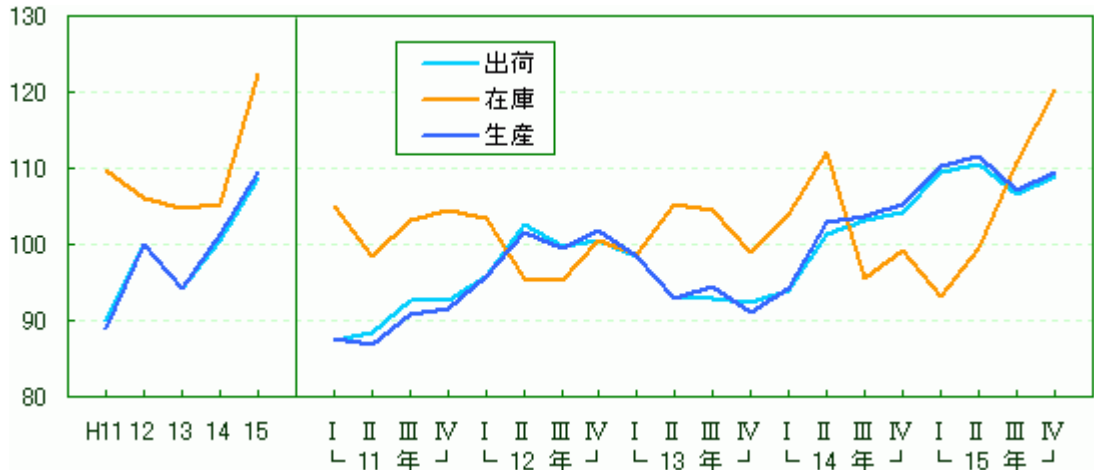


表6 熱間圧延鋼材 年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	101.4	109.4	94.2	103.0	103.6	105.2	110.3	111.5	107.2	109.4
前年比・ 前期比	7.8	7.9	3.5	9.3	0.6	1.5	4.8	1.1	△ 3.9	2.1
出荷指数	100.6	108.7	93.9	101.2	103.2	104.1	109.6	110.5	106.6	108.9
前年比・ 前期比	6.7	8.1	1.5	7.8	2.0	0.9	5.3	0.8	△ 3.5	2.2
在庫指数	105.3	122.4	104.0	112.2	95.6	99.3	93.1	99.4	110.9	120.3
前年比・ 前期比	0.6	16.2	5.2	7.9	△ 14.8	3.9	△ 6.2	6.8	11.6	8.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

図6 素製品(含、鋼半製品) 指数の推移
 年別 原指数 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年) = 100

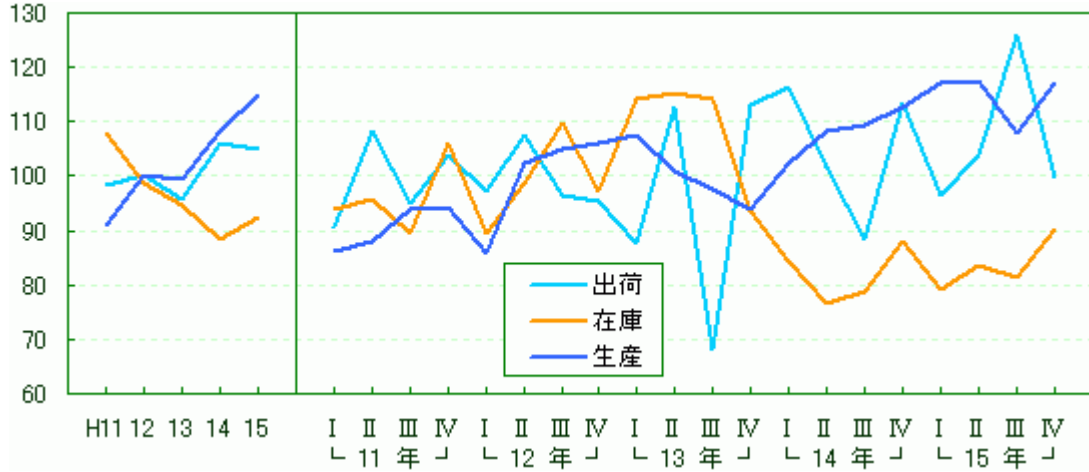


表7 素製品(含、鋼半製品) 年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	108.1	114.8	102.2	108.2	109.3	112.8	117.0	117.5	108.0	117.0
前年比・ 前期比	8.5	6.2	8.8	5.9	1.0	3.2	3.7	0.4	△ 8.1	8.3
出荷指数	105.9	104.8	116.5	101.7	88.3	113.4	96.3	103.8	126.0	99.7
前年比・ 前期比	10.4	△ 1.0	3.1	△ 12.7	△ 13.2	28.4	△ 15.1	7.8	21.4	△ 20.9
在庫指数	88.5	92.3	84.2	76.5	78.7	87.9	79.1	83.6	81.2	90.1
前年比・ 前期比	△ 6.6	4.3	△ 10.1	△ 9.1	2.9	11.7	△ 10.0	5.7	△ 2.9	11.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(2) 非鉄金属工業

— 生産、出荷ともに2年連続で上昇、在庫も上昇 —

生産指数は108.2で、前年に比べ4.0%上昇しました。これは、非鉄金属鑄物(前年比6.0%)、伸銅・アルミニウム圧延製品(前年比2.1%)などが上昇したためです。

出荷指数は103.9で、前年に比べ3.3%上昇しました。これは、非鉄金属鑄物(前年比5.7%)、伸銅・アルミニウム圧延製品(前年比2.1%)などが上昇したためです。

在庫指数は85.1で、前年に比べ0.6%上昇しました。これは、銅線(前年比28.9%)、非鉄金属地金(前年比4.5%)が上昇したためです。

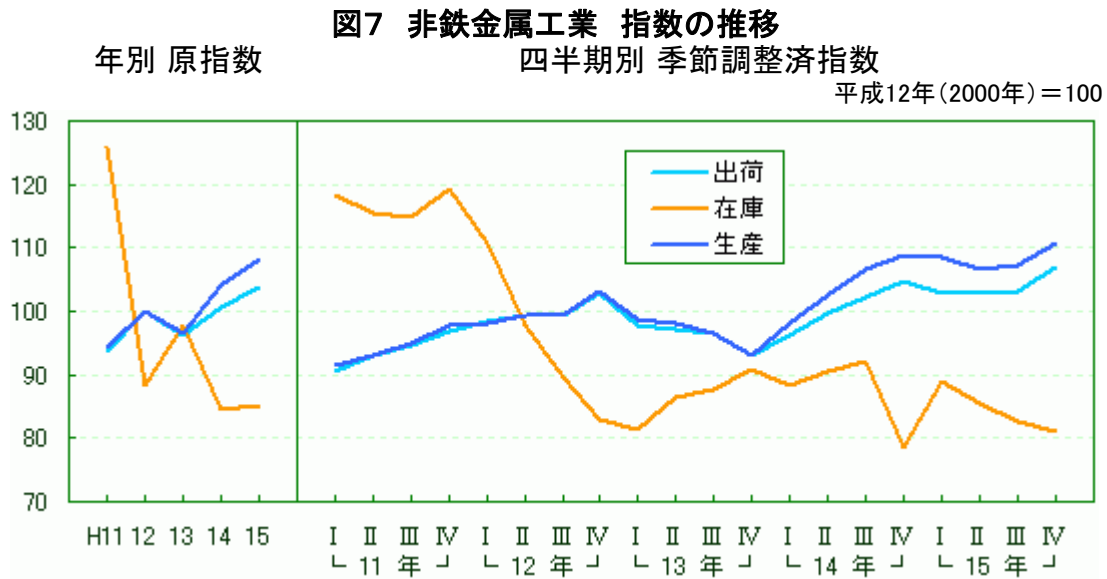


表8 非鉄金属工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	104.0	108.2	98.2	102.6	106.7	108.8	108.4	106.6	107.3	110.7
前年比・前期比	7.8	4.0	5.6	4.5	4.0	2.0	△ 0.4	△ 1.7	0.7	3.2
出荷指数	100.6	103.9	96.2	99.7	102.2	104.7	102.9	102.8	103.1	107.0
前年比・前期比	4.7	3.3	3.4	3.6	2.5	2.4	△ 1.7	△ 0.1	0.3	3.8
在庫指数	84.6	85.1	88.4	90.5	92.0	78.5	89.0	85.6	82.7	80.9
前年比・前期比	△ 13.4	0.6	△ 2.9	2.4	1.7	△ 14.7	13.4	△ 3.8	△ 3.4	△ 2.2

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(3) 金属製品工業

— 生産は2年連続で低下、出荷は上昇、在庫は低下 —

生産指数は98.2で、前年に比べ0.3%低下しました。これは、建設用金属製品(前年比 Δ 9.1%)、建築用金属製品(前年比 Δ 8.5%)などが低下したためです。

出荷指数は102.6で、前年に比べ4.2%上昇しました。これは暖ちゅう房熱機器(前年比5.8%)、建設用金属製品(前年比13.2%)などが上昇したためです。

在庫指数は87.8で、前年に比べ3.1%低下しました。これは、暖ちゅう房熱機器(前年比 Δ 2.6%)、その他の金属製品(前年比 Δ 15.6%)が低下したためです。

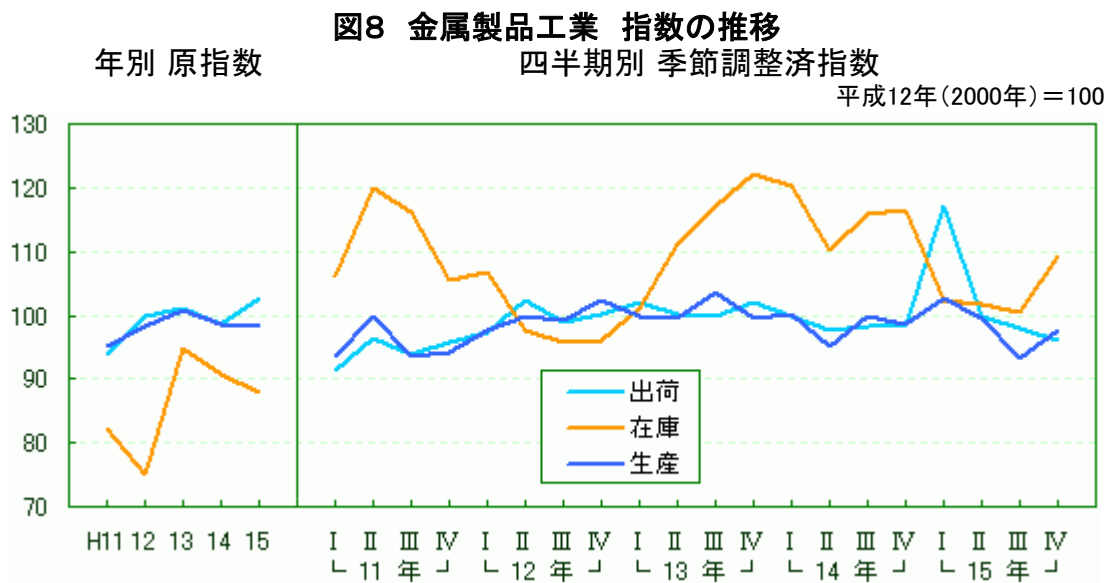


表9 金属製品工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	98.5	98.2	100.3	95.0	100.0	98.7	102.7	99.4	93.4	97.5
前年比・前期比	Δ 2.2	Δ 0.3	0.7	Δ 5.3	5.3	Δ 1.3	4.1	Δ 3.2	Δ 6.0	4.4
出荷指数	98.5	102.6	99.8	97.5	98.3	98.4	117.1	100.0	97.9	96.1
前年比・前期比	Δ 2.7	4.2	Δ 2.3	Δ 2.3	0.8	0.1	19.0	Δ 14.6	Δ 2.1	Δ 1.8
在庫指数	90.6	87.8	120.4	110.2	115.8	116.6	102.4	101.8	100.5	109.4
前年比・前期比	Δ 4.5	Δ 3.1	Δ 1.3	Δ 8.5	5.1	0.7	Δ 12.2	Δ 0.6	Δ 1.3	8.9

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(4) 一般機械工業

— 生産、出荷ともに上昇、在庫は2年連続で低下 —

生産指数は90.2で、前年に比べ11.4%上昇しました。これは、金属工作機械(前年比 36.1%)、運搬機械(前年比20.1%)などが上昇したためです。

出荷指数は99.0で、前年に比べ10.0%上昇しました。これは金属工作機械(前年比28.6%)、運搬機械(前年比22.3%)などが上昇したためです。

在庫指数は88.8で、前年に比べ5.7%低下しました。これは、機械工具(前年比△7.8%)、風水力機械・油圧機器(前年比△13.2%)などが低下したためです。

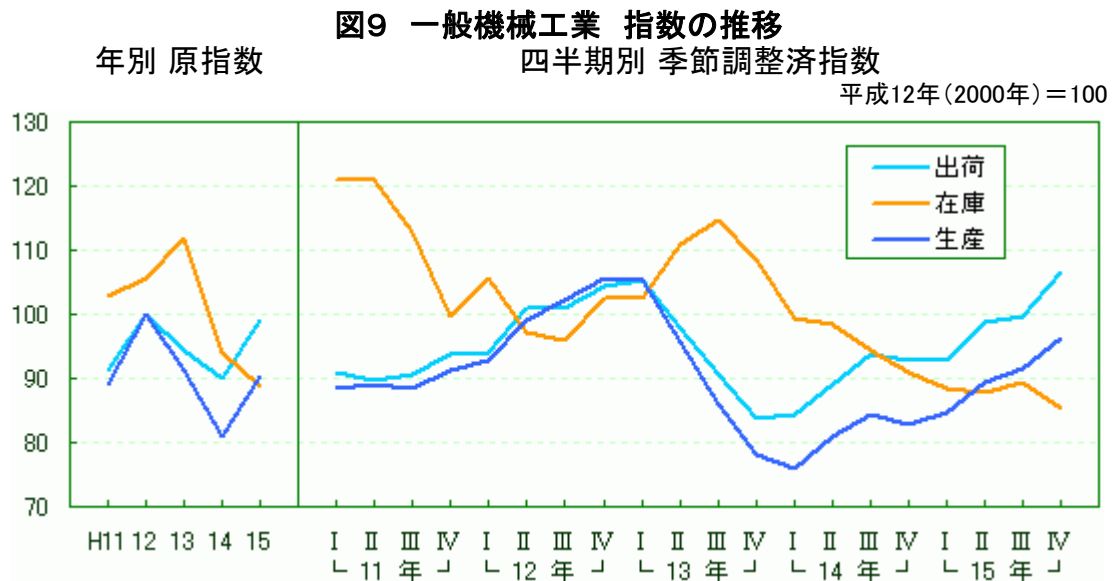


表10 一般機械工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	81.0	90.2	75.8	80.9	84.5	82.8	84.7	89.3	91.6	96.1
前年比・前期比	△ 11.2	11.4	△ 3.1	6.7	4.4	△ 2.0	2.3	5.4	2.6	4.9
出荷指数	90.0	99.0	84.5	89.2	93.8	92.8	92.8	98.6	99.8	106.5
前年比・前期比	△ 4.7	10.0	0.7	5.6	5.2	△ 1.1	0.0	6.3	1.2	6.7
在庫指数	94.2	88.8	99.3	98.5	94.5	91.0	88.5	87.7	89.5	85.3
前年比・前期比	△ 15.9	△ 5.7	△ 8.3	△ 0.8	△ 4.1	△ 3.7	△ 2.7	△ 0.9	2.1	△ 4.7

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

【一般機械工業の主な品目の動き】

図10 金属工作機械 指数の推移
 年別 原指数
 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年)=100

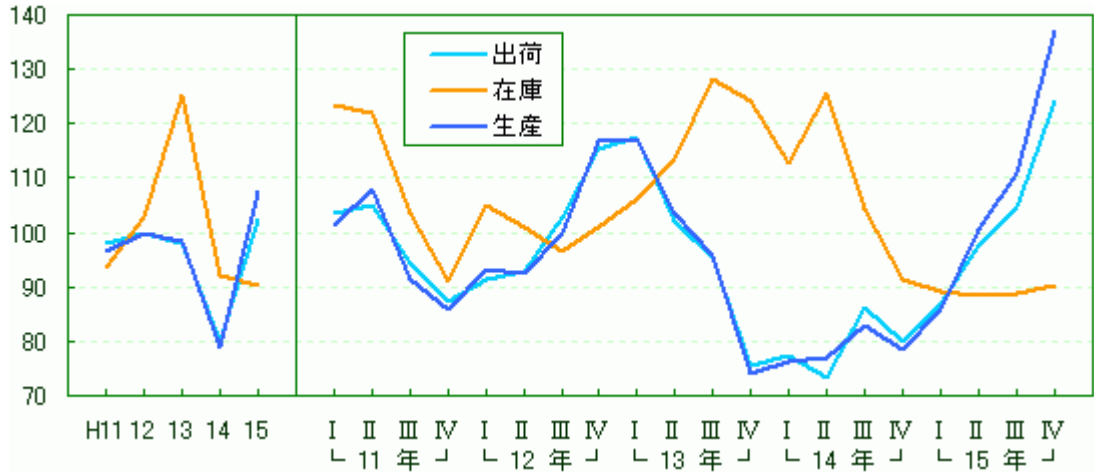


表11 金属工作機械 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	78.9	107.4	76.4	76.9	82.8	78.3	86.0	100.5	110.9	137.0
前年比・前期比	△ 19.7	36.1	3.0	0.7	7.7	△ 5.4	9.8	16.9	10.3	23.5
出荷指数	79.8	102.6	77.2	73.3	86.3	79.8	86.9	97.5	104.7	124.2
前年比・前期比	△ 18.7	28.6	2.0	△ 5.1	17.7	△ 7.5	8.9	12.2	7.4	18.6
在庫指数	92.0	90.4	112.8	125.8	104.4	91.5	89.0	88.6	88.9	90.2
前年比・前期比	△ 26.6	△ 1.7	△ 9.0	11.5	△ 17.0	△ 12.4	△ 2.7	△ 0.4	0.3	1.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
 注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

図11 運搬機械 指数の推移
 年別 原指数
 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年) = 100

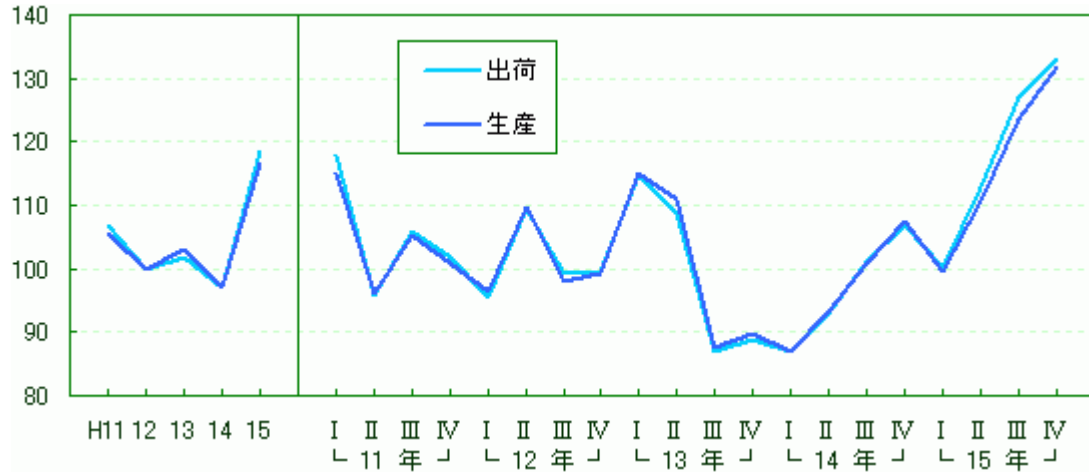


表12 運搬機械 年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	97.1	116.6	86.8	93.4	100.9	107.5	99.6	110.5	123.7	131.8
前年比・前期比	△ 5.8	20.1	△ 3.4	7.6	8.0	6.5	△ 7.3	10.9	11.9	6.5
出荷指数	96.9	118.5	87.1	92.8	101.1	106.8	100.3	113.0	126.9	133.0
前年比・前期比	△ 4.8	22.3	△ 2.0	6.5	8.9	5.6	△ 6.1	12.7	12.3	4.8

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(5) 電気機械工業

― 生産は上昇、出荷、在庫ともに3年連続で低下 ―

生産指数は85.3で、前年に比べ0.2%上昇しました。これは、開閉制御装置・機器(前年比7.4%)、内燃機関電装品(前年比1.1%)などが上昇したためです。

出荷指数は85.8で、前年に比べ0.7%低下しました。これは、民生用電気機械(前年比△21.4%)などが低下したためです。

在庫指数は56.2で、前年に比べ37.3%低下しました。これは、民生用電気機械(前年比△37.8%)などが低下したためです。

図12 電気機械工業 指数の推移

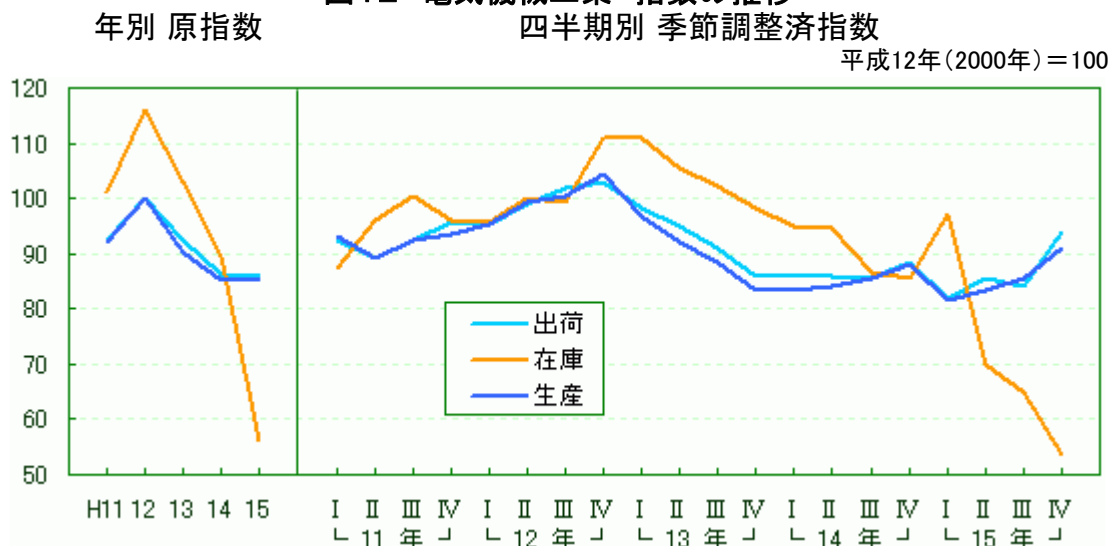


表13 電気機械工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	85.1	85.3	83.2	84.0	85.5	88.1	81.4	83.5	85.5	91.1
前年比・前期比	△ 5.5	0.2	△ 0.4	1.0	1.8	3.0	△ 7.6	2.6	2.4	6.5
出荷指数	86.4	85.8	85.8	86.0	85.7	88.3	81.9	85.4	84.2	93.8
前年比・前期比	△ 6.7	△ 0.7	0.0	0.2	△ 0.3	3.0	△ 7.2	4.3	△ 1.4	11.4
在庫指数	89.7	56.2	95.1	94.7	86.8	85.5	97.1	69.9	64.8	53.6
前年比・前期比	△ 12.8	△ 37.3	△ 3.2	△ 0.4	△ 8.3	△ 1.5	13.6	△ 28.0	△ 7.3	△ 17.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

【電気機械工業の主な品目の動き】

図13 開閉制御装置・機器 指数の推移
 年別 原指数 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年) = 100

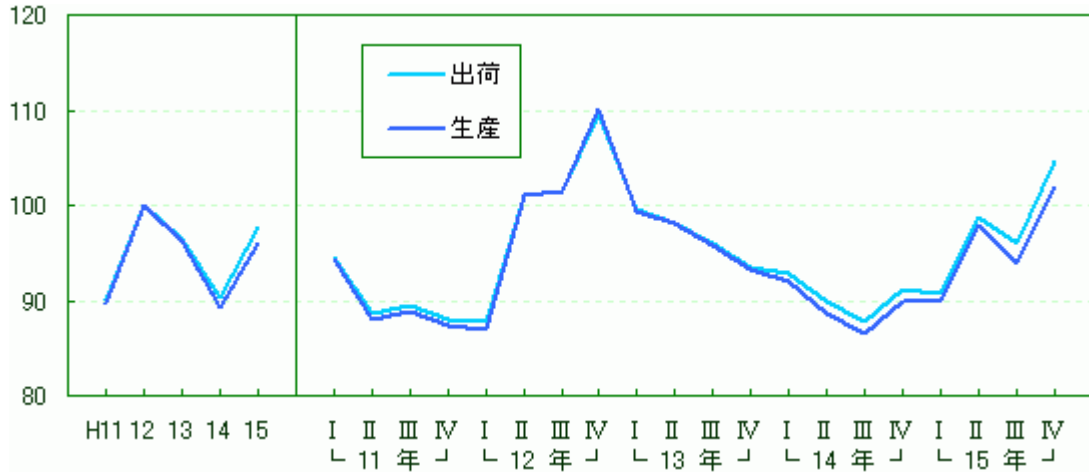


表14 開閉制御装置・機器 年・期別指数の推移

平成12年(2000年) = 100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	89.3	95.9	91.9	88.7	86.5	89.9	89.9	97.9	93.9	102.0
前年比・前期比	△ 7.3	7.4	△ 1.4	△ 3.5	△ 2.5	3.9	0.0	8.9	△ 4.1	8.6
出荷指数	90.4	97.6	92.9	90.0	87.7	91.1	90.8	98.8	96.0	104.7
前年比・前期比	△ 6.3	8.0	△ 0.5	△ 3.1	△ 2.6	3.9	△ 0.3	8.8	△ 2.8	9.1

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

図14 内燃機関電装品 指数の推移

年別 原指数

四半期別 季節調整済指数

平成12年(2000年)=100

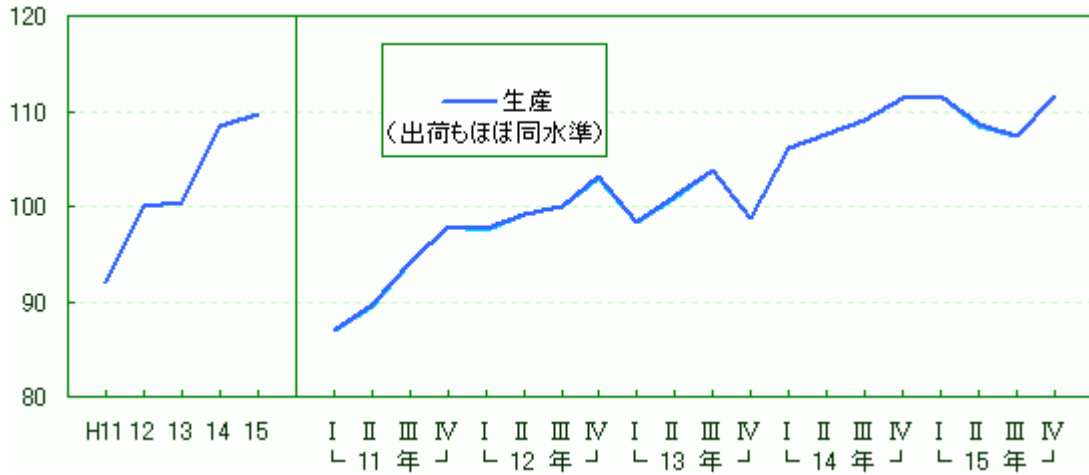


表15 内燃機関電装品 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	108.5	109.7	106.1	107.6	109.1	111.4	111.6	108.6	107.3	111.6
前年比・前期比	8.1	1.1	7.4	1.4	1.4	2.1	0.2	△ 2.7	△ 1.2	4.0
出荷指数	108.5	109.7	106.1	107.6	109.1	111.4	111.6	108.5	107.3	111.6
前年比・前期比	8.1	1.1	7.4	1.4	1.4	2.1	0.2	△ 2.8	△ 1.1	4.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(6) 情報通信機械工業

— 生産、出荷ともに4年連続で上昇、在庫は2年連続で上昇 —

生産指数は115.8で、前年に比べ4.9%上昇しました。これは、民生用電子機械(前年比29.5%)が上昇したためです。

出荷指数は159.3で、前年に比べ11.6%上昇しました。これは、民生用電子機械(前年比25.1%)が上昇したためです。

在庫指数は235.3で、前年に比べ57.4%上昇しました。これは、民生用電子機械(前年比57.4%)が上昇したためです。

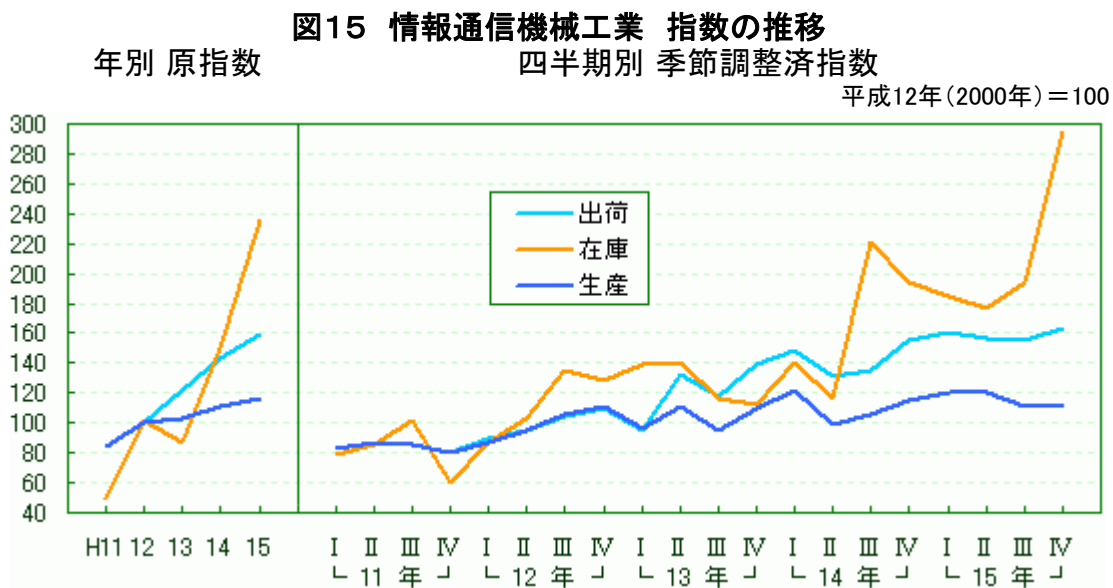


表16 情報通信機械工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	110.4	115.8	122.0	99.4	105.2	115.4	120.3	120.1	110.6	112.0
前年比・前期比	7.2	4.9	11.0	△ 18.5	5.8	9.7	4.2	△ 0.2	△ 7.9	1.3
出荷指数	142.8	159.3	149.2	131.0	135.2	155.6	161.1	156.5	155.8	163.9
前年比・前期比	17.1	11.6	6.8	△ 12.2	3.2	15.1	3.5	△ 2.9	△ 0.4	5.2
在庫指数	149.5	235.3	140.0	116.7	221.5	194.0	185.4	176.4	194.7	294.5
前年比・前期比	72.2	57.4	25.2	△ 16.6	89.8	△ 12.4	△ 4.4	△ 4.9	10.4	51.3

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

(7) 輸送機械工業

— 生産、出荷ともに2年連続で上昇、在庫は低下 —

生産指数は103.0で、前年に比べ1.6%上昇しました。これは、自動車部品(前年比7.5%)、その他の輸送機械(前年比1.2%)が上昇したためです。

出荷指数は104.5で、前年に比べ1.8%上昇しました。これは、自動車部品(前年比7.3%)、自動車(前年比0.5%)などが上昇したためです。

在庫指数は55.5で、前年に比べ34.4%低下しました。これは、自動車(前年比△36.9%)、自動車部品(前年比△3.9%)が低下したためです。

図16 輸送機械工業 指数の推移

年別 原指数

四半期別 季節調整済指数

平成12年(2000年)=100

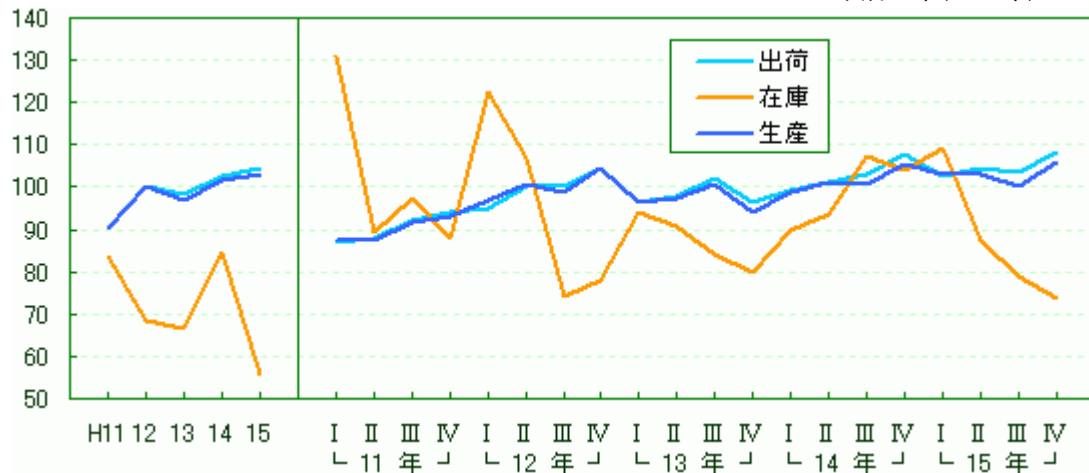


表17 輸送機械工業 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	101.4	103.0	98.9	101.2	100.9	105.4	103.2	102.9	100.2	106.0
前年比・前期比	4.4	1.6	5.2	2.3	△ 0.3	4.5	△ 2.1	△ 0.3	△ 2.6	5.8
出荷指数	102.7	104.5	99.5	101.3	103.2	107.6	102.8	104.5	103.3	108.1
前年比・前期比	4.6	1.8	3.1	1.8	1.9	4.3	△ 4.5	1.7	△ 1.1	4.6
在庫指数	84.6	55.5	89.6	93.4	107.3	104.2	109.3	87.5	79.1	73.9
前年比・前期比	27.4	△ 34.4	12.4	4.2	14.9	△ 2.9	4.9	△ 19.9	△ 9.6	△ 6.6

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

【輸送機械工業の主な品目の動き】

図17 自動車部品 指数の推移

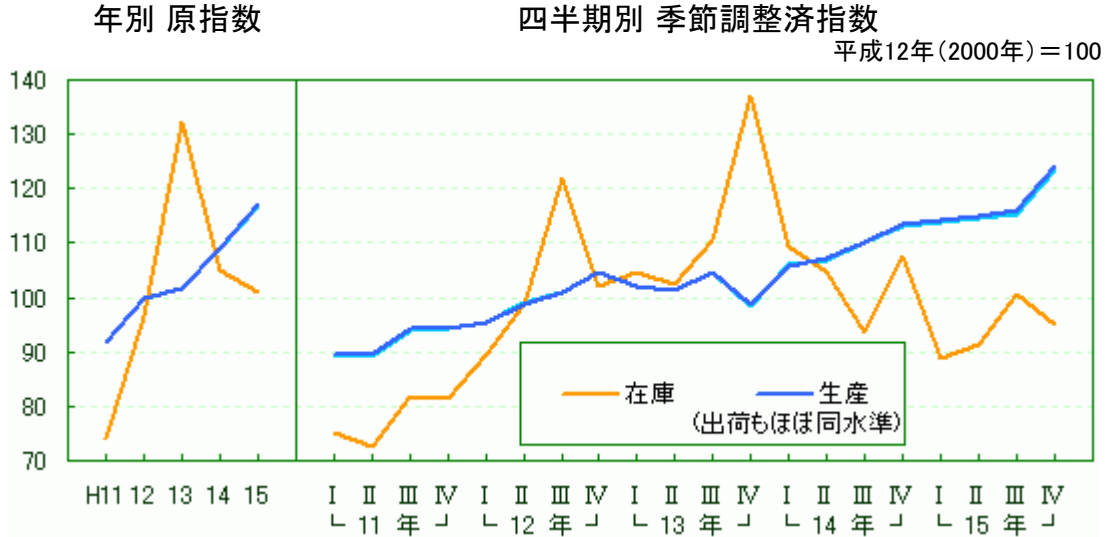


表18 自動車部品 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	109.0	117.2	105.9	107.2	110.2	113.3	114.1	114.8	116.1	124.2
前年比・ 前期比	7.3	7.5	7.3	1.2	2.8	2.8	0.7	0.6	1.1	7.0
出荷指数	108.9	116.8	106.1	107.0	110.0	113.0	113.9	114.4	115.5	123.6
前年比・ 前期比	7.2	7.3	7.7	0.8	2.8	2.7	0.8	0.4	1.0	7.0
在庫指数	104.9	100.8	109.3	104.7	93.4	107.6	88.9	91.2	100.5	95.0
前年比・ 前期比	△ 20.7	△ 3.9	△ 20.2	△ 4.2	△ 10.8	15.2	△ 17.4	2.6	10.2	△ 5.5

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。
注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。

図18 その他の輸送機械 指数の推移
 年別 原指数 四半期別 季節調整済指数
 平成12年(2000年)=100

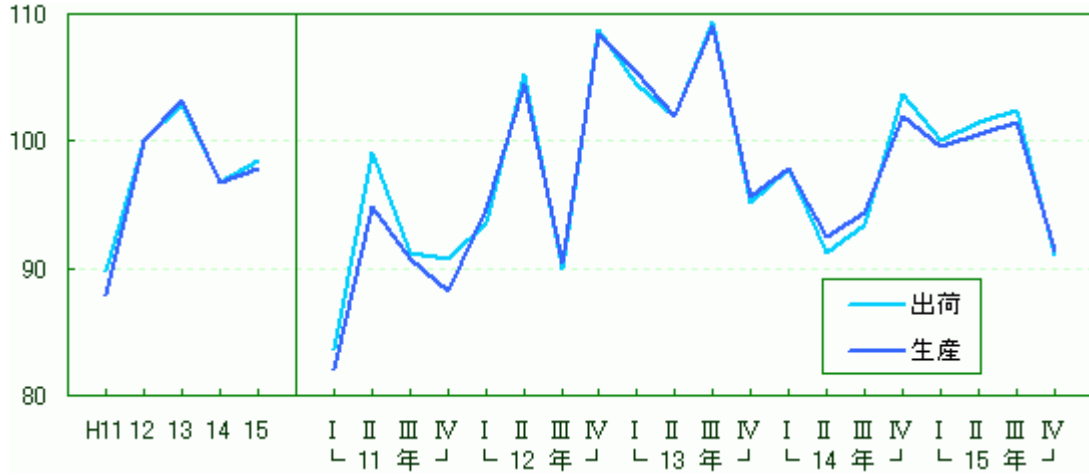


表19 その他の輸送機械 年・期別指数の推移

平成12年(2000年)=100

	平成14年	平成15年	平成14年				平成15年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	96.7	97.9	97.8	92.4	94.3	101.9	99.6	100.6	101.4	91.3
前年比・ 前期比	△ 6.3	1.2	2.2	△ 5.5	2.1	8.1	△ 2.3	1.0	0.8	△ 10.0
出荷指数	96.8	98.4	97.8	91.2	93.4	103.7	100.1	101.5	102.4	91.1
前年比・ 前期比	△ 5.9	1.7	2.8	△ 6.7	2.4	11.0	△ 3.5	1.4	0.9	△ 11.0

注1 年指数は原指数で、四半期指数は季節調整済指数です。

注2 前年比は原指数、前期比は季節調整済指数の伸び率(%)です。